

大規模災害への対応力の強化

令和2年7月

【担当省庁】国土交通省

大和川の外水・内水対策の推進

1. 外水対策（ながす対策）

- ・大和川流域整備計画に基づき、大和川本川はS57豪雨対応(1/30相当)、支川は計画規模1/10で、河道掘削、樹木伐採などを推進
- ・直轄遊水地は、川西町保田地区、安堵町窪田地区の早期完成、**他残り3地区での切れ目ない工事推進**、早期の用地買収着手

2. 内水対策（ためる対策）

令和元年台風19号被害に鑑み、昨年12月より奈良県平成緊急内水対策事業について、想定を超える豪雨(1/100)に**グレードアップ**した貯留施設整備をキックオフ

事業主体は市町とし、各市町の意向を踏まえ、**国費を除いた半分を県が支援**

- ⇒ **社会資本整備総合交付金の総額確保**
- ⇒ **「3か年緊急対策」後の国土強靱化の取組のための予算・財源確保**

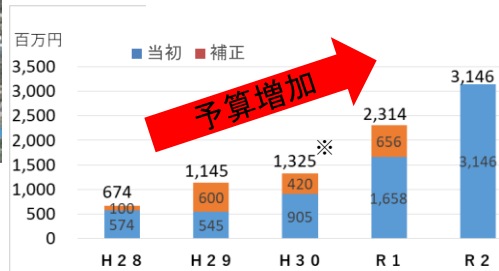
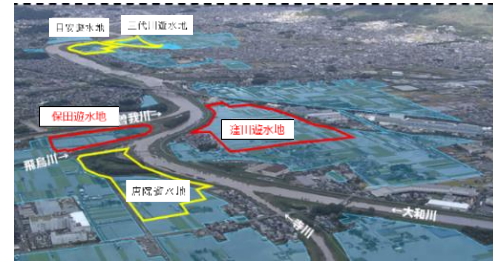
<外水対策:位置図>



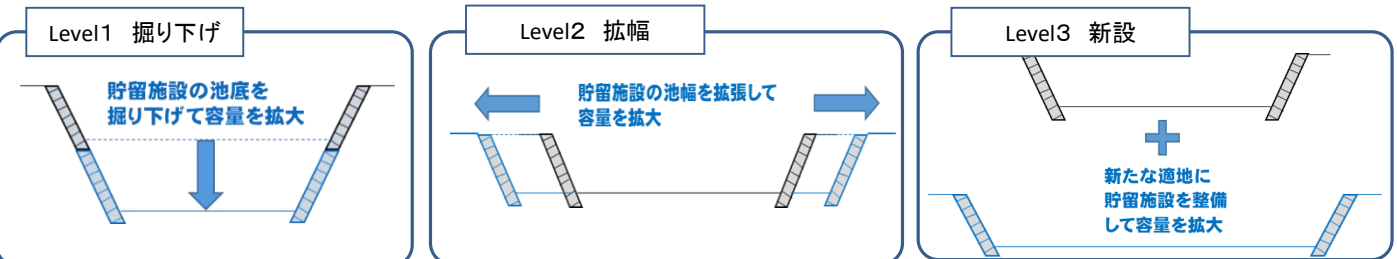
※下図は、国土地理院地図を使用

①R2年度工事箇所 ②今後工事予定箇所

<平成29年10月 内水はん濫の状況>



<内水対策:グレードアップ対策案>



【県担当部局】 県土マネジメント部 河川整備課

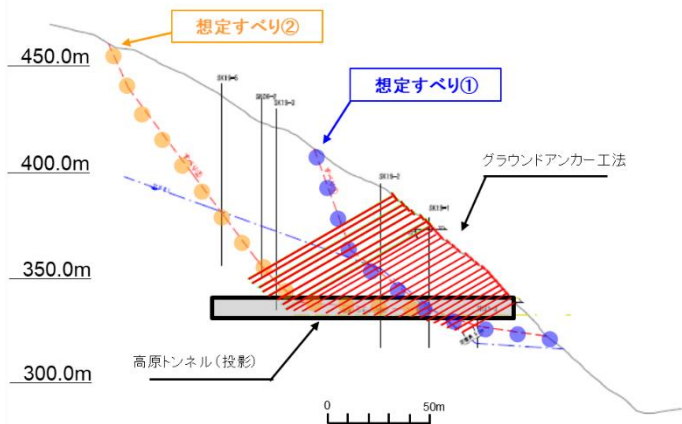
国道169号高原トンネルの地すべり対策

大規模かつ複雑な地すべり対策工事の推進



- ・ 災害復旧事業を早期に採択して頂き、感謝
- ・ 対策には高度な技術力を要するため、令和2年度より国による施工着手
⇒ **地すべり対策工事の着実な実施**

<高原トンネル断面図>



<高原トンネル内クラック状況>



※応急対策後、令和元年4月17日より通行止めを暫定的に解除中。現在も地すべりによる通行止めの可能性が継続。

【県担当部局】 県土マネジメント部 砂防・災害対策課

中長期的な観点からの下水道経営

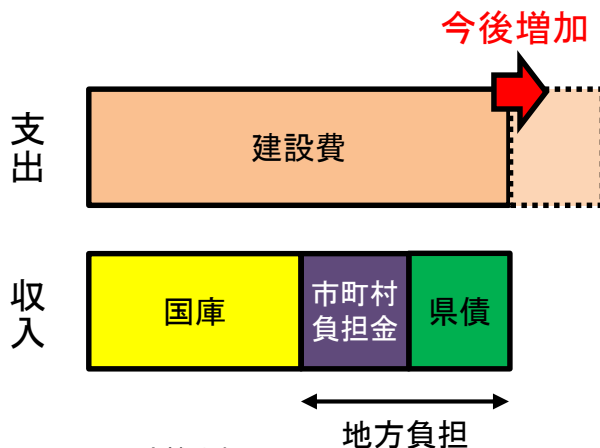
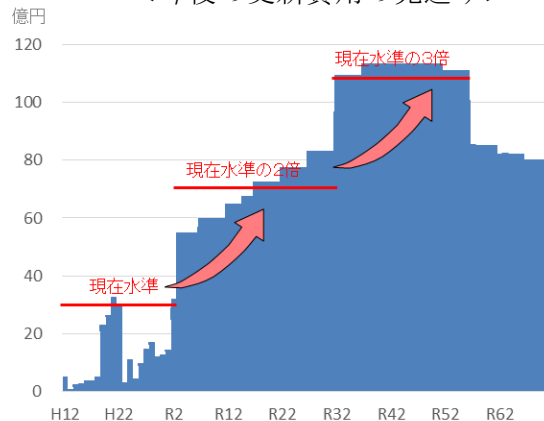
下水道経営基盤の強化



人口減少に伴う需要低下、老朽化に伴う更新費用の増大(令和3年度以降、現在水準の2~3倍の投資が想定)への対応が必要

- ・ 近年、国庫補助金を高い水準で確保いただき、感謝
(要望措置率 R1:0.97 R2:0.92)
- ・ 今後の更新費用増大に伴う地方負担の増加が懸念
⇒ **更新需要の増大に対応する社会資本整備総合交付金の総額確保**

<今後の更新費用の見込み>



※国庫補助率
処理場施設:2/3
管路:1/2

目標耐用年数(標準耐用年数*1.5倍)での更新を想定

※標準耐用年数・・・機械・電気設備:平均約18.3年
土木・建築施設:平均約31.4年
管路施設:平均約50.0年

【県担当部局】 県土マネジメント部 下水道課